

短期大学部の教育理念

短期大学部は、人としての可能性を追求し、充実した人生を歩むことができる女性の育成を目指して、次の教育理念を掲げます。

① 社会人として自立した女性を育成する

社会人として「自立」し、より豊かで健全な暮らしと社会の実現に貢献できる女性の育成を目指します。

② 智慧と学芸を身に付けた女性を育成する

社会人として自立するための、基本的な「智慧と学芸」を身に付けた女性の育成を目指します。

③ 「いのち」を慈しむ心を持った女性を育成する

すべての「いのち」を等しく慈しむ心を持った女性の育成を目指します。

1 アドミッションポリシー

本学科では、自分の将来を具体的に構想し、その実現のための自覚的な学習を通じ、相手の言葉を相手の立場に立って聴くことのできる傾聴力と、自らの考えを自らの言葉で明確に説明する説明力を合わせもった豊かなコミュニケーション力を備え、実際の生活において課題設定・情報収集・課題解決を可能とする実践的な社会人としての能力を身につけた女性を育成します。そのため、ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーに定める教育を受けるために必要な、次に掲げる基礎的な知識・技能及び関心・意欲を備えた女性を求めています。このような入学者を適正に選抜するために、教科（国語、英語）の試験、作文、面接など多様な選抜方法を実施します。

1. 高等学校等までの学習を通じて、基礎的な知識や技能を身につけている。
2. 日常生活の中で、高等学校等までの学習を通じて得た知識や技能を積極的に生かしたいと考えることができる。
3. 相手の立場に立って考え、人を大切にすることができる。
4. 現代社会の諸問題に対して、幅広い関心を持ち、自ら考え、学ぶ意欲がある。
5. 社会人基礎力を育成する学びを通して、社会において必要な幅広い能力を身に付けたいという意欲がある。
6. 多様な専門分野の学びを通して、専門知識や技能を有したプロフェッショナルを目指す意欲がある。

2 カリキュラムポリシー

本学科の人材養成目標及びディプロマポリシーの達成のため、以下の方針に基づきカリキュラムを編成、実施する。

2.1 カリキュラムの編成方針

以下のように本学科のカリキュラムは建学の精神教育を基本としつつ、ライフデザインスタンダードとライフデザインプロフェッショナルから成り、その下に系、さらにその下に分野を置く。系あるいは分野ごとにディプロマポリシーを具体化した到達目標（ミドルレベルディプロマポリシー）を設定する。

(1) 建学の精神教育

- ・現代社会に生きる女性として思いやりの精神をもって、社会とかかわりを持ちつづける価値観や態度を身につけるために、仏教の人間観及び京都光華の学びを置く。

(2) ライフデザインスタンダード

- ・どの分野に進むのにも必要な学びの基礎と社会人基礎力を身につけるためにライフデザインスタンダードを置く。
- ・具体的には特に初年次教育として、学びの5つの基礎（学びの姿勢、学びの知識、学びの目的、学びの能動性、学びの発展）のためにライフデザイン系（ライフデザイン、コミュニケーション、社会を学ぶ、ビジネス基礎、情報基礎の各分野）を置き、それ以外に社会人基礎力を多様な観点から育成するために心の世界（仏教の人間観、心のふれあいの各分野）、女性の生き方（キャリア&ウーマン分野）、グローバル（国際社会、外国語、留学の各分野）の各系を置く。

(3) ライフデザインプロフェッショナル

- ・地域や社会のニーズに対応するため、多様な専門分野の系を配置し、各専門分野の学びを通して専門知識、スキルを身につけると同時に、分野にとらわれないジェネリックスキルを身につけるためにライフデザインプロフェッショナルを置く。
- ・具体的にはファッション、ブライダル、フード、インテリア、デザイン企画、ビジネスの各系を置く。ビジネス系にはビジネス実務、医療事務、エンターテインメント、観光の各分野を置く。

2.2 カリキュラムの実施方針

以下の点に留意しつつ、カリキュラムを実施する。

(1) 授業手法

- ・能動的な学びの姿勢を身につけ社会人基礎力を養うために、学科として各科目の授業内容のみならず授業方法にも留意し、組織的にアクティブ・ラーニングを取り入れる。

(2) 履修指導

- ・学期ごとに学科オリエンテーションを実施し、履修指導にあたる。クラスアドバイザーは履修登録状況を個別に確認するなどの対応を含め学生の履修指導を行う。また、各学期中に行う個人面談を通じて履修状況や希望進路などを確認し、適宜必要な履修指導を行う。

(3) 学修支援

- ・多様な専門分野の学びを深めるため、学内外でのさまざまな企画を、授業で学んだ知識の定着と発展の場として活用する。また、学生の自発的学修の契機とするため授業内外で資格取得のサポートを行う。

(4) 評価

(成績評価)

- ・科目の到達目標に対応した多面的な評価方法を採用し、総合的な評価を行う。

(到達目標評価)

- ・科目の到達目標に対する達成度を、教員が評価すると同時に学生も自己評価し、両者を比較することで科目ごとの達成度を客観的に自覚することができるようにする。

(ディプロマポリシー、ミドルレベルディプロマポリシー評価)

- ・科目の到達目標の達成度を集約することにより、ディプロマポリシー・ミドルレベルディプロマポリシーの項目ごとに達成度を表示し、学修目標の設定や学生指導に役立てる。

3 ディプロマポリシー

以下の力を身につけ、学則に定める卒業要件を満たした者に学位を授与する。

- ・思いやりの心を持って、学びの意欲を高め感性を磨くことができる
- ・21 世紀の教養を身につけ、広い視野と将来の見通しを持って社会とかかわることができる
- ・社会に生きる人材として、多様な知識や技術を身につける

（ミドルレベルディプロマポリシーを策定。「ライフデザインスタンダード」と「ライフデザインプロフェッショナル」に分け、それぞれ「こころ」、「教養」、「人材」について設定。）